

議会だより



沖縄県金武町

きんてん



金武町イメージキャラクター
金武タームくん

第166号

発行：令和3年9月1日



町から各種お知らせや災害情報、映像（町の魅力）を発信する金武町デジタルサイネージ（場所：金武バイパス南側）が運用開始した。（夕方の風景）

主な内容

- 一般質問 2～14P
- 伊藝菊博 P 2 / 山里 均 P 3 / 外間慎仁 P 4 / 大城政敏 P 5 / 吉野 潤 P 6
- 仲村広美 P 7 / 大城一之 P 8 / 松田健人 P 9 / 伊藝直樹 P 10 / 池原政文 P 11
- 與那城直也 P 12 / 仲間トム P 13 / 崎浜秀幸 P 14
- 令和3年第3回（6月）定例会・第4回（8月）臨時会等 15～18P

◆発行：金武町議会 ◆編集：議会広報調査特別委員会

〒904-1292 沖縄県国頭郡金武町字金武1番地 NTT098-968-2292 有線電話 8-2292
金武町公式ホームページ <http://www.town.kin.okinawa.jp> 金武町議会メールアドレス gikai@town.kin.lg.jp

きんてん（均^{ひと}露^{うるお}）とは…「均しく露う」という意味で、町民が等しく行政の恩恵を受けられるよう町民代表の議決機関の使命を踏まえて昭和55年の発行第1号の際に命名しました



令和3年第3回(6月)定例会

一般質問

(※質問順に掲載し、質問・答弁は要約)



伊藝 菊博 議員

※飛沫防止アクリル板を設置しています。

海岸整備

伊藝議員 屋嘉小浜原、電源開発との境は潮の流れで砂、海藻が溜まり異臭がするが浚渫する考えはないか。

か。

仲間一町長

海藻等の堆積や異臭は現状を確認しており、今年度で堆積物の除去を行い、海岸の環境美化に努めていく。

伊藝議員

屋嘉塩先原護岸(給油所裏)石積みが一部崩れているが対策は。

崩れているが対策は。

町長

当該箇所は町で護岸の崩落を確認し、管理者で

ある沖縄県が応急処置を施しており、今年度修繕を行うと報告を受けている。



石積みが崩れている塩先原護岸

伊藝議員

屋嘉食堂海華付近から七日浜の碑付近までの防護柵設置に向けた県との協議の進捗状況は。

の協議の進捗状況は。

町長

県が海岸背後地を高潮や津波、波浪から防護する目的で整備したもので、護岸上部の水たき部分の人が往来するとは想定しておらず防護柵は設置してないが、今後、地域の実態を踏まえつつ、安全対策上必

踏まえつつ、安全対策上必

要な箇所については転落防護柵等の整備を検討していくと県から回答をもらっている。引き続き県と調整をしていく。



防護柵がない七日浜の碑付近の護岸

伊藝議員

屋嘉区護岸整備背後地計画の進捗状況は。

町長

国有地を活用した遊歩道の整備を計画しているが、個人住宅や敷地の一部、合計27筆、1067㎡が国有地に越境して建設しているため、整備が進んでいない。

現在、課題解決に向け屋嘉区と取組んでいる。用地の問題が解決され次第、整備を進めていく。

整備を進めていく。

伊藝議員 嘉芸小学校付近の海岸護岸整備は。

の海岸護岸整備は。

金城司建設課長

整備当時は自然を残してほしいと

嘉芸小学校側から要望があつて現在の形となつているが、何十年も経過している

ので、現在の嘉芸小学校、屋嘉区の意見等を聴取しながら、整備に向けて取組んでいくか判断したい。

伊藝議員 光が丘近辺から伊芸避難港までの海岸護岸整備は。

光が丘近辺から伊芸避難港までの海岸護岸整備は。

町長 海水により土地の一部浸食している箇所を確認している。

県に対し護岸現地調査を依頼しながら大規模な対策ができるようにしていく。

伊藝議員 平成3年頃から屋嘉2018番地(町有地)に在沖米軍施設からの廃棄物がサンドイッチ方式により埋め立てられているが、周辺は農地で汚染される恐れがある。

ある。産業廃棄物最終処分場の埋立て処分終了許可を取っているか。

町長 平成20年1月に一般廃棄物最終処分場廃止確認申請を提出し、同年2月、県から廃棄物処理業者に対し最終処分場廃止確認が通知されている。

伊藝議員 産業廃棄物の町の見解は。

産業廃棄物の町の見解は。

町長 平成29年に当該最終処分場跡地近隣の地下水について水質汚濁に係る環境基準に従い水質汚濁調査を実施したところ、環境基準値を満たしていることから周辺地域への影響はないと考えている。

周辺地域への影響はないと考えている。

生活環境

伊藝議員

平成3年頃から屋嘉2018番地(町有地)に在沖米軍施設からの廃棄物がサンドイッチ方式により埋め立てられているが、周辺は農地で汚染される恐れがある。

周辺は農地で汚染される恐れがある。



産業廃棄物最終処分場跡



山里 均 議員

※飛沫防止アクリル板を設置しています。

高齢者向け新型コロナウイルスワクチン接種

山里議員 5月13日、20日の接種でキャンセルは出たか。

仲間一町長 5月13日金武区で3名、20日並里区、中川区で8名のキャンセルがあった。

山里議員 キャンセルで残ったワクチンは町内の高齢者介護施設従事者に接種したのか。

山里議員 介護従事者や医療従事者等を中心に接種しており、廃棄したワクチンはない。

山里議員 保育士も接種したか。

保健福祉課長 個別接種で

優先的に接種を進めていく。

山里議員 接種後の体調に異変があると報告はあったか。

町長 5月20日の並里区、中川区の接種会場において軽い体調異変の報告があったが、会場内の救護室で経過観察後、回復したため帰宅している。

山里議員 国から高齢者への2回目の接種終了を7月末に前倒しするよう要請があったが、町は8月25日が接種終了だが変更はあるのか。

町長 町は当初北部医師会と連携の下、5月から接種を開始し、8月までの接種完了を目指し計画を進めていたが、厚生労働省から65歳以上の高齢者への7月中旬の接種完了依頼があり、8月に予定していた接種予約分を町内医療機関等に協力

を仰ぎ、7月中旬に集団接種及び個別接種で組み直し、

町内全ての65歳以上の高齢者が接種完了できるように変更した。



ワクチン集団接種会場 (中央公民館大ホール)

山里議員 高齢者接種の完了後、64歳以下のワクチン接種の予定は。

保健福祉課長 対象人数が約6000名いるため、10歳区切りでの接種、予約は5歳区切り等、なるべく電話予約時に混乱が生じないように接種できる体制を確保して64歳以下の接種もスムーズに進めていきたいと考えている。

PCR検査

山里議員 PCR無料検査は必要だと考えるが。

町長 新型コロナウイルス感染症の感染拡大が長期化する現状において行政検査対象の方以外でも、大学受験や出張等の理由で県外に渡航する必要がある方を対象にPCR検査費用の自己負担分の助成事業を実施するため予算を計上している。大学受験や出張等の目的以外の一般の方を対象にしたPCR検査も引き続き検討していく。

山里議員 沖縄県PCR希望者検査促進事業補助金を活用できないか。

安富相勸 総務課長 この事業を認めている検査機関が7か所ある。その中で検査機関ごとに自己負担分の検査費用があり、2000円〜8500円の自己負担分がある。

町の事業は自己負担分を

負担するための助成事業を実施するということで、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を使って8500円の100回分を助成するための金額を計上している。

道の駅構想

道の駅構想

山里議員 現在の進捗状況は。

町長 当初観光交流物産センターの財源は北部連携促進事業の活用を計画していたが、町内事業の優先順位の見直しからギンバル海浜公園整備事業への優先配分を行ったことにより、観光交流物産センターは実施計画を見直し、後年度での実施となった。

山里議員 県内の道の駅を視察したことはあるか。

町長 平成27年に道の駅基本計画策定委員会を設置し、基本コンセプトや機能、建設予定地の検討や県内道の駅視察等を行っている。



外間 慎仁 議員

※飛沫防止アクリル板を設置しています。

コロナ禍における町民の声の集約、支援対策とワクチン接種状況

外間議員 コロナが1年半以上も続く状況下において苦しい生活に追い込まれている町民もいるが、対策や支援を行っているか。

仲間一町長 町独自の困窮世帯支援を含めた支援策は前年度に引き続きコロナ禍の影響を受けた休業者等の方々を臨時的に雇用して町内保育施設等の消毒作業、公共施設等のサーモグラフィカメラ設置、災害時避難所の感染防止対策に必要な不織布毛布等の災害物資の備蓄、テレビデータ放送感染者情報、影響を受けている町内事業者の各種申

請手続に関する助言や支援に必要な社会保険労務士や税理士等の専門家配置、町内農業生産者支援の営農推進アドバイザー配置、学業の継続が困難な学生を対象とした金武町育英資金特別貸付等を継続して実施している。

外間議員 飲食店の声は。

知念久商工観光課長 通常の営業状態に戻れない分、収入が減っていると聞いている。国、県の支援や町独自の支援等、アドバイ

ザー的な役割も含めながら飲食業組合は商工会と連携しながら支援している。

外間議員 困っている方々へアンケート調査したらどう

うか。

島袋博保健福祉課長 各

家庭それぞれ貧困状況や求めているものも違うと考えるためアンケート等を検討して意見の吸い上げをしていきたい。

バイパス(町道進入路) 中学校付近交通安全対策

外間議員 金武バイパスから

金武中学校付近の町道に接続される交差点は何度も事故が起きており、子ども達の安全を守るために対策が必要だと考えるが。

町長 去る5月5日の事故

報告を受けて、北部国道事務所より新たな対策を検討するとの回答を得ている。

今後、町は北部国道事務所や石川警察署と連携を図りながら、安全対策に取組んでいく。

新開地の生活環境の改善住みよくなりますか

外間議員 新開地は以前か

ら猫が多く住民から糞尿被害等の苦情があるが、町は猫の飼いや避妊、去勢手術等の対策を行っているか。

町長 ボランティア団体、動物病院に協力をいただき

ます。

令和元年度から公益財団法人どうぶつ基金が実施しているさくらねこ無料不妊手術事業の支援を受け、令和元年度から3年5月末時点までに合計828匹の飼い主のいない猫に不妊、去勢手術を施している。

外間議員 店舗ごみと家庭

ごみの仕分けと回収方法は。

町長 事業所ごみは事業所

が自前で運搬するか、ごみ収集業者と契約して回収を行っている。家庭ごみは地域ごとに決められた回収日に塵芥車が回収している。新開地地区は店舗と住居が混在しており、それぞれの店舗に対し、ごみ出しルールについてのチラシを配布し、区別化できるように周知していく。

外間議員 路上飲食が目立

つが。

町長 観光地としてのイ

メージを損ね、さらに新型コロナウイルスの感染リス

クも上がることから店舗前

等に座り込んでの路上飲食を控えるよう注意喚起をし、看板やポスター掲示の対策について関係機関と連携を図りながら検討してい

く。

外間議員 駐車場の整備、設置は。

町長 令和2年度に国道沿いに駐車場案内看板を設置したことで誘導がスムーズになると考えている。

現時点では既存の駐車台数で対応可能と考えているが、駐車場の常態化が見られることから、駐車状態の調査を行い、新開地事業者並びに金武町社交飲食業組合と協議し、注意喚起等の対策を実施している。

その他の質問事項

オンライン申請対応状況

やんばる自然遺産登録に伴う3町村経済連携協定、やんばるゲートウェイ構想



人事問題



大城 政敏 議員

※飛沫防止アクリル板を設置しています。

大城議員

正規職員、臨時業務委託の採用はどのような基準で行われているか。

仲間一町長

採用試験は金武町職員採用に関する規則に基づき、競争試験及び選考による採用がある。競争試験は筆記試験、口述試験、その他職務に必要な能力を判断する試験により、受験者の職務遂行能力の判定をしている。また、競争試験採用での該当者の不足等、特別な考慮を必要とする場合や、競争試験によることが困難である場合等は選考により採用ができるものとなっている。

臨時の任用職員の採用は金武町職員の臨時的任用に関する規則に基づき、産休や育休、病休などで常時勤務を要する職に欠員が生じた場合に採用しており、選考方法は書類審査及び面接で行っている。

会計年度任用職員及び業務委託の採用は町の広報等で必要な職種の募集を行い、書類審査及び面接により行っている。

大城議員

試験採用の場合は上位の成績から採用しているのか。

安富相勸

総務課長

一次試験は一般教養試験、筆記試験で点数の上位の者を二次試験に進めている。二次試験は一次試験の点数、論文、面接の点数を加味して総合的に評価し採用している。筆記試験でトップになっても面接、論文の評価が低ければ総合的な評価が落ちることもある。

大城議員

役場職員で採用

選考委員を組織するのは公平性が保たれているか疑問がでるため、第三者も入れて誰が見ても公平性が保たれている形の組織に持つていく必要があるが。

池原均副町長

当然、いろいろな社会状況は変わってくるのでいつまで役場職員が採点をするのか、そこは状況を見ながら変化するかもしれない。

大城議員

職員の異動は公平性、透明性が確保されなければならぬがどのような基準で行われているか。

町長

一つの課に在籍する年数が3〜5年を目安に行っており、人事異動希望調査や年齢構成、経験年数等を総合的に勘案し、適材適所を念頭に配置している。

大城議員

非正規職員が正規職員よりも1・5倍多いが、何年雇っているのか。

町長

(左表のとおり)

金武町役場の非正規職員数
令和2年4月1日時点

勤務年数	会計年度任用職員	委託業務
1～5年	140名	9名
5～10年	40名	4名
10～15年	24名	7名
15年以上	4名	5名

大城議員

類似町村より非正規職員が多い理由は。

総務課長

金武町の場合は基地があるのと子育て支援を充実させており、学校の支援員の充実等、他にはない金武町の特殊事情がある分は増える要素が高いということである。

駐留米軍の倉庫群受入れ

大城議員

嘉手納飛行場以南の米軍基地の倉庫群を

キャンプ・ハンセンで受入れる事だったがどういふ条件で受入れを承諾したのか。

町長

平成30年5月19日に当時の菅義偉内閣官房長官と面談し、施設の受入れを容認した。受入れ前提条件としての要請内容は、

- 防災機能を備えた金武町複合庁舎建設事業
- キャンプ・ハンセンから沖縄自動車道入口付近へ直結するアクセス道路の新設
- キャンプ・ハンセン内再編関連工事の町内業者優先活用
- キャンプ・ハンセンにおける町民の優先雇用
- 金武レッド・ビーチ訓練場の港湾指定
- うるま市から一般国道329号金武バイパス分岐交差点付近までの区間の4車線化
- キャンプ・ハンセンに関する3町村連絡協議会と内閣官房長官との意見交換の場を設ける

以上7項目である。



吉野 潤 議員

※飛沫防止アクリル板を設置しています。

農林水産業の振興

吉野議員 パヤオの利用状況は。

仲間一町長

(左表のとおり)

中層パヤオ利用状況

年 度	利用回数	漁獲量
平成30年度	49回	3.2t
令和元年度	87回	3.2t
令和2年度	154回	16.4t

吉野議員 つくり育てる漁業への取組みは。

町長 金武漁業協同組合と連携し、タマン、ウニ等の放流や限られた水産資源を有効に利用する漁獲制限等の周知を図り、水産資源の保全等を行っている。

吉野議員 観光漁業の推進と取組みは。

町長 金武漁業協同組合、農林水産課、商工観光課、観光協会、ネイチャーみらい館と連携し、大型定置網を活用した体験漁業、エーグ岩周辺ツアー、パヤオ釣り体験ツアー等の観光漁業プログラムの検討を進めている。

吉野議員 県内で大量に発生しているヒメヨコバイの仲間であるコアナ・アークユアータの害虫被害により、町内の至るところでアカギの葉枯れが目立っている。農家は農作物への影響が今後出ると心配しているが町の対策は。

町長 令和元年6月に那覇市内の街路樹で被害が確認

され、翌年には被害が本島北部に広がっている。

町内の公共施設等に生育するアカギの被害調査を行っているっており、葉の変色や落葉等の被害を確認している。

農作物への被害は沖縄県環境再生課によると現在は確認されていないとのことだが、今後も関係機関から情報収集しながら適切に対応していく。



葉が変色したアカギ

コロナ禍における観光産業、商工業への影響と今後の取組み

吉野議員 県はコロナ第7次補正予算を可決し、観光関連事業の支援を行うが、

町は支援事業を考えているか。

町長 令和3年度は未申請者を対象に金武町新型コロナウイルスウィルス緊急給付金及び家賃支援金給付事業を継続するほか、金武町プレミアム商品券事業のプレミアム率引上げや国・県の支援等の申請サポートについても引き続き実施していく。

国や県の施策を活用し、商工観光業を支援するとともに商工会や観光協会と連携を図り、必要性に応じた支援について随時検討していく。

吉野議員 商工会等から相談や要望があったのか。

知念久商工観光課長 お客様が減って売上げが減少して収入がない、固定経費や家賃を払うのが厳しい、そういう経営上の苦しい話がある。

ふるさと応援寄附金

吉野議員 前年度から約4

000万増の予算となっているが、その根拠は。

町長 当初予算の前年度比増額分は過去の実績から算出している。(実績は左表のとおり)

ふるさと応援寄附額

年 度	寄附額
平成30年度	4,816万8,000円
令和元年度	7,733万8,000円
令和2年度	9,475万9,000円

令和3年度においても同等の寄附額が見込まれることから9000万円で計上している。

吉野議員 ポータルサイトシステムを町内の観光業界の方々でできないか。

伊藝勲企画課長 町の特産品のPR等、町の活性化のために町内で回せるように環境づくりに努めています。



仲村 広美 議員

※飛沫防止アクリル板を設置しています。

新庁舎建設

仲村議員 進捗状況は。

仲間一町長 当初の年次

計画では令和2年度内に建設場所を最終決定し、3年度に基本計画、4年度に基本設計及び実施設計、5年度に建設工事に着手し、6年度中の施設供用開始を目標に掲げていたが、新型コロナウイルス感染症の影響と感染拡大防止のため、町民や関係団体への説明機会を十分に確保できず、建設場所の最終決定に至っていないことから説明の機会を確保するため、補助先との協議を得て、整備計画のスケジュールを延長することとした。

仲村議員 用地も決定していないのか。

安富祖勸 総務課長 決定

には至っていない。

仲村議員 遅くないか。

池原均副町長 用地選定

委員会では町長に答申として敷地を委員会内部の決定として出している。

町は各地域の説明会を経たから最終判断をして決定をしていくことから令和3年度中になると考える。

仲村議員 時間がかかれば

町民は不安になるが。

町長 法律に基づいて進め

ている事業のため、国も予定どおりに進めて協力していくと言質ももらっている。町民にしっかり説明が果たせる機会を作りながら進めたいと考えている。

アレルギー対策

仲村議員 町の幼児・児童・

生徒のアレルギー疾患の現

状は。

町長 就学前保育施設にお

ける食物アレルギー疾患を持つ園児は27名おり、内アナフィラキシー等の重篤な反応が予測される園児が1名となっている。

当該園児の在籍する保育

施設はアナフィラキシー等のショック症状を一時的に緩和する治療薬であるエピペンを常備し、緊急時の備えも行っている。

仲村議員 アレルギー対策

は。

比嘉貴一 教育長 年1回

アレルギーのある幼児・児童・生徒本人とその保護者、学校長、給食センター係長、学級担任、養護教員等で面談を行い、学校給食における食物アレルギー対応方針に基づき対応している。調理従事者は学校給食衛生管理基準や衛生管理に関する基礎、基本等を遵守すること以外にもアレルギー食やHACCP(ハサップ)への対応等業務が多様化しており、今後は研修等を実

施し、職員の資質向上を図っていく。

仲村議員 給食センターで

複数名の正規職員増員を要望していたが町長の考えは。

町長 新採用枠に教育会議

を含めて話を進めていく。

仲村議員 こども園の調理

員は。

仲間賢こども支援課長 調理員の採用が検討される

ようであれば、こども園の調理についても検討してほしいと総務課長に3月議会

の時点で相談している。

仲村議員 給食費は無料だ

がアレルギー対策で弁当を作っている保護者は自費である。支援はできないか。

町長 持参する弁当につい

て補助的なものが必要な

か、親の安心を確保するための方策が取れるか、除去食を作る等、教育委員会の考え方と親の負担をどのように減らすか保健福祉課

等々いろんな分野で話を交

職員採用及び職員の福利厚生

仲村議員 選考採用の場

合、競争試験が困難または不適当な事例とあるが、選考採用する場合のルールが必要では。

総務課長 選考採用の規則

等事例調査して導入の検討していく。

仲村議員 職員の健康管理

についてどのように取組んでいるか。

町長 各種法令に基づき職

場での健康診断の実施、メンタル等の対応として産業医によるストレスチェックや産業カウンセラーによる相談事業等で職員の健康管理を行っている。

※HACCPとは「安全な食品」を製造するための製造工程の管理方法



大城 一之 議員

※飛沫防止アクリル板を設置しています。

新型コロナウイルス 感染症

大城議員 令和3年度町独自の新型コロナウイルス関連支援策は。

仲間一町長 令和3年度の支援策は就学前保育施設の保育従事者を対象としたPCR検査の定期的実施、外出自粛が求められている状況下での生涯学習、文化振興を推進するための電子図書館整備、町立中央公民館利用者の感染リスク軽減を図るための1階トイレ改修、学童クラブのPCR検査の定期的実施、行政手続に係る押印の見直しやオンライン申請等を含めた例規整備等を予定している。

大城議員 町ホームページ

内の新型コロナウイルス最新情報の更新は随時しているか。

町長 ホームページのトップページ画面の金武町からのお知らせから町の情報として発信しており、新型コロナウイルス感染症に関する金武町長メッセージや社会教育施設、地区公民館等における開館状況等について随時更新を行っている。

大城議員 金武町葬祭場の感染症対策は。

町長 葬祭場の利用者に対していつでも消毒できるように手指消毒用のアルコールを設置するとともに、葬儀の際は参列者へマスク着用やソーシャルディスタンスを取るよう看板を設置し、周知を図っている。

また、火葬や葬儀終了後はフロア全体に消毒液散布等の対策を行っている。

大城議員 町内教育施設の感染症教育は。

比嘉貴一教育長 沖縄県

教育委員会から示された学校における新型コロナウイルス感染症に係る衛生管理マニュアル、学校の新しい生活様式に沿って感染症対策を実施している。

基本的な対策として、①感染源を絶つこと、②感染経路を絶つこと、③抵抗力を高めることの3つの柱を基本としている。

大城議員 町は6月7日、20日まで休校だが保護者から午前中見てもらいたいと要望があった場合、受け入れはできるのか。

教育長 学校で受けることは考えていない。教育委員会が支援して、学童で対応できるか検討する。

新型コロナウイルス ワクチン接種

大城議員 集団接種でキャンセルが出た余剰分ワクチンの接種方法は。

町長 国が定めた接種順位で、①医療従事者、②高齢者、③高齢者施設等の従事者に基つき、余ったワクチンを廃棄することなく有効活用する体制を整えている。さらにワクチン確保が進めば保育士等の接種も先行して進めていきたい。

大城議員 一般町民のワクチン接種計画は。

町長 国のワクチン供給状況を見定めながら計画を進めることとし、これまでの集団接種のほか、町内各医療機関での個別接種も進め、早期のワクチン接種完了を目指していきたいと考えている。

大城議員 65歳以上の高齢者全体予約率は。

島袋博保健福祉課長 6月8日時点で3057名のうち2188名が予約をしており、予約状況は71・6%となっている。

大城議員 キャンプ・ハンセン内ワクチン接種状況は。

町長 令和3年5月末時点

で、軍人・軍属全体で約7000名のうち約75%に当たる5200名が2回接種を完了しているとの情報を得ている。

SDGs推進

大城議員 SDGsに対する町の考えは。

町長 事例として廃棄物処理対策は、ごみの排出抑制や再利用、再資源化を推奨する取組等がSDGsで掲げる目標12の「つくる責任つかう責任」などで示されている。

町の計画する各施策等がSDGsで掲げる17の目標や169のターゲットの達成に反映されることで、結果的に地方創生を推進する取組みである。

町は地域の課題解決やSDGsの推進として掲げられた社会、経済、環境のバランスを図りながら、持続可能なまちづくりを進めていく。



松田議員 町が目指す温泉ホテルを中心にスポーツ施設や医療施設等の連携によるウェルネス・スポーツ・ツーリズムの推進は。

仲間一町長 町は充実した体育施設を活用したスポーツ・ツーリズムの推進に取り組むとともに、温泉宿泊施設を中心として豊かな自然環境を活かしたスポーツと健康、アクティビティーが融合した新たな観光メニューの開拓や商品開発等に取り組む、町観光協会や民間事業者等と連携した積極的なプロモーション活動やメディアやインターネット、デジタルサイネー

観光産業の振興



松田 健人 議員

※飛沫防止アクリル板を設置しています。

ジ等での情報発信を強化することで集客、周遊につながるよう、様々な施策を実施していく。

松田議員 将来インバウンドの誘致も視野に入れながら積極的にギンバルを中心とした健康、癒しをテーマとした旅行を今から町で展開していくべきではないか。

知念久商工観光課長 ギンバル訓練場開発のテーマが癒しと健康である。

今回、核となる温泉宿泊施設と周辺の医療関係施設が連携した中でこういった旅行メニューを県内外の方に提供できるのか、ホテルの事業者と相談している。



建設中の温泉ホテル

松田議員 金武町の男女平均寿命は。また県内で何位か。

島袋博保健福祉課長 2

015年データの平均寿命は男性が79・5歳で41位、女性が87・3歳で25位である。

松田議員 町は全国出生率1位だが平均寿命は最下位となっている。早い段階でギンバルを中心としたヘルスツーリズムの取組みを早急に行い、これからの計画の中に町民の健康増進も意識づける取組みを積極的に行ってもらいたい。

町長 町の成人病健診率が40%を割って県でも一番悪い。医療クリニックも充実しているため健診率を上げることには全力を挙げている。

スポーツ・ツーリズムの推進

松田議員 体育施設の管理体制は。

比嘉貴一 教育長 社会教育課体育係の正規職員4名、会計年度任用職員を

ベースボールスタジアム3名、フットボールセンター2名、プール6名、陸上競技場、体育館、武道館に3名を配置し、体育施設の管理を行っている。

松田議員 各施設の芝・黒土の管理は。

教育長 芝はベースボールスタジアム、サブグラウンド、フットボールセンター、陸上競技場の4か所を芝管理業者に委託して管理している。

松田議員 黒土は社会教育課で直接管理をしている。

松田議員 黒土を使用して他の球場の整備の方法を視察し、黒土を管理できる業者に一括管理をしていくことで良いグラウンドの質を保てるのでは。

仲間功 社会教育課長 施設職員でノウハウを勉強し、専門業者から技術を勉強して進めていけるように検討していく。



黒土を使用している金武町ベースボールスタジアム

松田議員 プロチームや町外の利用者が施設を利用する際の料金見直しを図るべきではないか。

町長 多目的屋内運動場の完成を見据えて、プロチームの料金見直しを教育委員会と話し合っている。



多目的屋内運動場完成予想図



農業振興



伊藝 直樹 議員

※飛沫防止アクリル板を設置しています。

伊藝議員 町内の福花原、武田原の水田面積と耕作していない面積は。

仲間一町長 面積は約58ヘクタールであり、遊休地の面積は約5ヘクタールとなっている。

伊藝議員 遊休地に対するこれまでの取組みは。

町長 農業委員会及び農林水産課合同で毎年8月に農地利用調査を行っており、その中で確認された遊休農地の地権者に対して農業委員や農地利用最適化推進委員が訪問し、地権者自身での耕作を指導したり営農意向がない場合は新規就農者など担い手へあっせんする

ことで遊休地解消に取り組んでいる。



農地利用調査を行う農業委員

伊藝議員 水田再生利用及び担い手等パワーアップ事業の進捗状況は。

町長 農業委員及び各部会への事業説明を行い、広報金武6月号で申請者募集の記事を掲載して周知を行った。

今後当該事業の周知を行いながら積極的活用を推進し、遊休地解消と田芋生産振興を図っていく。

伊藝議員 事業内容は。

糸村昌敏農林水産課長

特産品である田芋の生産振興を図るとともに経営拡大を目指して町内水田遊休地の再生、利用に取り組む担い

手等に遊休地の再生に係る経費を支援し、田芋の生産振興、遊休地解消を図ることを目的に実施する事業である。

伊藝議員 道路より低い田畑は大雨の時に土砂が流れ込みPH値が高くなって農産物の生育に影響が出ているため現場調査をしてほしいが。

町長 道路雨水の流入は圃場によって道路より低い場所があり、雨水の流入があることは認識している。そのような圃場は大雨後、重点的に状況を確認し、農作物への影響がないか調査を行っていく。

伊藝議員 作物が育つのに土壌中のPHが大事であり、小石が田畑に流れてPH値が高くなってアルカリ障害で作物が育たなくなったりして栽培できないため道路工事をする場合は注意して進めた方がよいのでは。

は。

農林水産課長 砕石類が畑に入り込まないような対策を取りながら町道、農道の整備に努めていく。

指定管理

伊藝議員 中川区で指定管理している公園は夏場には雑草の伸びが早く草刈りが多くなる。経費について特段の配慮をしてほしいが。

町長 これまで各区からの要望により公園を整備していた経緯があり、そのことを踏まえ指定管理者として各区を指定し、金武町公園の管理に関する協定書の締結の下、各区において公園の維持管理等を行っている。

本協定書の中では維持管理に関する費用については光熱費を除き指定管理者の負担とすることとなっている。町内各区においてもその共通認識の下、公園管理に努めてもらっている。

伊藝議員 中川地区公園は

学童の児童やこども園がよく利用し、遊具も整備されているが令和4年度から工事が始まるのか。

金城司建設課長 公園の芝の全面張り替え、遊歩道、トイレ、東屋等の改修等を計画している。

現在、その財源確保に向けて防衛省といろいろ調整して概算要求を行っており、その概算要求が認められれば令和4年度～5年度にかけて工事を実施する計画となっている。



東屋等の改修が計画されている中川地区公園



農業振興



池原 政文 議員

※飛沫防止アクリル板を設置しています。

池原議員 町内に農業生産組合は何か所あるか。

仲間一町長 伊芸さとうきび生産組合の1事業所となっている。

池原議員 生産組合等の組織をどのように認識しているか。

町長 地域の圃場を活用して農作物の生産拡大に寄与する役割や高齢で耕作が難しくなった農家の作業を受託することで農地の遊休化を防ぐ等の役割が期待され、重要だと考えている。

池原議員 農家関係者から町に組織立ち上げの相談はあったか。

町長 関係者から町へ相談があり、組合関係者、伊芸

区長、JAおきなわ、町の4者で組合設立に向けて話し合いを行っている。

池原議員 相談内容は。

糸村昌敏 農林水産課長

現在のさとうきび生産組合の組織を充実させて、水田部、野菜部、観葉部の部を設けて、さとうきびだけではなく伊芸区の農家を会員とした大きな組織を作りたいという相談を受けた。

池原議員 現在どこまで進んでいるのか。

農林水産課長 構想を固めている段階であり、拠点となる場所がないと組織も運営しづらく、JAおきなわと3者で話し合いを持ち、JAおきなわの方で施設を整備して管理運営をその組合が担うという計画までは進んでいる。

池原議員 生産拠点となる事務所、倉庫等の設置に対する補助は。

町長 JAおきなわが実施主体として施設整備を行い、生産組合が施設等を管

理運営する計画で進めている。

池原議員 生産機具等の購入に対する補助は。

町長 金武町生産機具及び施設資材購入補助金等により生産組合を支援している。

池原議員 農業をするには生産機具が必要だが、財政支援はどのように考えているか。

農林水産課長 町の生産機具及び施設資材購入補助金は事業費50%補助で、さとうきび生産組合関係者から補助対象にしてほしいという申出があった。

さとうきび生産組合が管理しているトラクター等の機械が老朽化に伴って使えなくなったりした時は町も支援していきたいと考えている。



伊芸区内のさとうきび畑

長期継続契約に関する条例の制定

池原議員 OA機器等の複数年度にわたる賃貸借契約は。

町長 地方公共団体が締結する契約の期間は4月1日から翌年3月31日までの単年度を原則としている。OA機器等の複数年契約については債務負担行為により契約を締結している状況である。

を越えて日常的、継続的な業務に関する契約等について条例で定めることにより、毎年度契約締結を繰り返すことなく複数年度にわたって契約を締結することができることから事務の合理化、効率化を図ることができる。

町においても地方自治法第234条の3の規定に基づき長期継続契約の活用に向けて、長期継続契約に関する条例の年度内制定に向けて取組んでいく。

池原議員 これまで条例制定していない理由は。

安富相勸 総務課長 理由は債務負担行為の手続があるということ、条例制定には至ってないと推測している。

県内では現在28市町村(約7割)が条例の制定を行っている。

条例制定をすることで債務負担行為も要らなく合理化が図れるため、条例制定に取組んでいく。



與那城 直也 議員

※飛沫防止アクリル板を設置しています。

町の生活環境の向上に係るごみ処理等に関する課題

與那城議員 現在の新焼却施設（宜野座村福山区）までの通行ルートの決定方法は。

仲間一町長 焼却施設までの最短距離である漢那区を通るルートは地元である宜野座村が漢那区と協議を行ったが、未来ぎのざや小学校の前を通ることは危険であることから民家の少ない現在のルートに決定した経緯がある。

與那城議員 現在のルートは最短のルートに比べて往復約3・2キロ長く要するため、時間がかかっており、

事業者にとって大きな時間喪失となっている。改善する必要があると考えるが。

町長 町はできる限り地元である宜野座村の意向を尊重しているが、金武町民において施設の利便性向上のため、再度宜野座村と協議を行っていく。

與那城議員 宜野座村との協議は。

儀間権住民生活課長 昨年12月に宜野座村議会で質疑がされている。漢那区の方々協議の場を持つてもらえるのであれば宜野座村長も前向きに話し合いをしていくとの事である。

與那城議員 未来ぎのざや小学校の前を通るといふことは危険だと思うが、現在は旧漢那橋が通れるようになっていて。また小学校の登下校の時間を除いた時間帯で協議すれば納得できると考えているが。

住民生活課長

昨年12月宜野座村議会でその案を提案している。

町でも金武町議会議員から提案があったと積極的に宜野座村に伝えていく。



現在のルート(青)と最短ルート(赤)



焼却施設への現行ルート入口

與那城議員 施設の負担金の決定方法は。

町長

金武地区清掃センターの管理運営は金武地区消防衛生組合が行っており、その運営費を含む衛生費に充てるため構成町村である金武町と宜野座村で案分し、負担している。内訳は金武地区消防衛生組合規約により、金武町と宜野座村とで均等割30%、人口割70%の割合により算出した額を負担金としている。

り、その運営費を含む衛生費に充てるため構成町村である金武町と宜野座村で案分し、負担している。

内訳は金武地区消防衛生組合規約により、金武町と宜野座村とで均等割30%、人口割70%の割合により算出した額を負担金としている。

與那城議員 良好な生活環境の維持とさらなる向上及び焼却施設の負担軽減による長寿命化のために日常的なごみの排出量の抑制に努める必要があると考えるが町の取組みは。

町長 令和3年4月に「ごみの正しい分け方・出し方」のパンフレットを作成し、全世帯に配付した。単純な減量化だけではなく、正しい分別によって適正処理されることにより、処理施設の負担軽減につながると考えている。

與那城議員

ごみが減れば負担金も削減できるが、費用削減のために他に考える施策はあるか。

住民生活課長 今回、ごみの出し方を細かく提示している。

今後も宜野座村と一緒に考えていく。

與那城議員 ごみの総排出量の削減を目的として生ごみ処理機の購入助成金を交付している自治体がある。このような取組みは検討できないか。

住民生活課長 他市町村の事例も参考にしていく。

この取組みはSDGsにつながると考えているのでごみの適正化に向けて取り組んでいく。

與那城議員

野良猫、野犬、カラス等が道路に出している生ごみを散乱させている。回避するためにも、生ごみ処理機購入奨励助成金を検討してほしいが。

住民生活課長

こういったことが必要なのか議員の提案を含めて取組んでいく。


仲間 トム 議員

※飛沫防止アクリル板を設置しています。

J Aおきなわの牛肥育撤退による子牛生産へ影響
仲間議員 県内でJ Aおきなわが管理していた肥育施設の数。

仲間一町長 肥育施設数は7か所となっており、本島4か所は撤退すると報道を確認している。

仲間議員 撤退した理由は。

糸村昌敏 農林水産課長

経営が赤字に陥っているということが主な要因だと聞いている。

仲間議員 肥育施設の子牛導入頭数は。

町長 同施設合計で月に60頭程の子牛を導入していたが、令和2年10月を最後に

子牛の導入が行われていないことを確認している。

仲間議員 J Aおきなわが肥育撤退後、子牛価格の状況は。

町長 今帰仁家畜セリ市場の競り結果報告では、事業導入最後となる令和2年10月の競り平均価格は約62万5000円、導入停止後の令和2年12月の競り平均価格は約76万円、直近の令和3年5月の競り平均価格は約69万円である。

仲間議員 町内の子牛生産者への影響は。

町長 現状において競り価格の下落は確認されていないが、昨今の畜産情勢は目まぐるしく推移することから、今後も状況を注視するとともに関係機関や農家との関係性を引き続き維持しながら町畜産業の振興に取り組んでいく。

仲間議員 今後出荷に影響出てくると考えるが。

農林水産課長 やんばる和

牛改良組合でもそういった懸念があるということでJ Aに存続を求めていると聞いている。

仲間議員 コロナ禍で経営悪化のためA5ランクの肉を安売りで焼肉屋が提供している。そういうことが続くことによって将来の県内和牛はどうなっていくのか。非常に不安だがどう考えるか。

農林水産課長 良い肉が安値で販売している現状は今後競りに反映、悪い影響を与えるので懸念を持っている。

この辺は県内や国内の情勢を注視しながらJ Aと協力し、取組みを農家と一緒にやっていく。

仲間議員 J Aとの協力はどのような方法か。

農林水産課長 やんばる和牛改良組合も北部地区で意見交換会等していると聞いている。

子牛の競り価格が維持で

きる取組みと品質向上を広域で考えていく話もあり、J Aと協力しながら取組みたいと考えている。

仲間議員 牛が売れなくなった場合、給付金等を検討できるか。

農林水産課長 今後新型コロナウイルスで畜産経営に影響があった場合は、受給できる支援策体制を国・県も整えていくと考えられるため、農家をサポートしていける体制を町も整えたいと考えている。

コロナによる畜産業への影響
仲間議員 新型コロナウイルス感染拡大による養豚業者の状況は。

町長 外出自粛による家庭消費が増加している。さらに諸外国では新型コロナウイルス感染症や豚熱、アフリカ豚熱の発生を受けて生産施設の営業停止等により輸入量の減少が生じてい

る。これらを背景に国内豚肉の需要が高まっていることから安定した価格推移となっている。

仲間議員 ヤギ生産者の状況は。

町長 新型コロナウイルス感染症蔓延防止による祝い事等の自粛により、ヤギの取引が減少していると生産者から聞いている。

仲間議員 畜産業者等生産農家の新型コロナウイルスの影響による価格の下落が懸念される中、給付等の町の支援策は。

町長 新型コロナウイルス感染症の猛威が長期化しており、畜産経営への影響が懸念されることから、町は引き続き畜産情勢等を注視するとともに、充実したサポート体制を堅持し、農家支援に取組んでいく。



崎浜 秀幸 議員

※飛沫防止アクリル板を設置しています。

西普天間返還地からの土砂搬入**崎浜議員** 西普天間返還地域からの土砂搬入は。**仲間一町長** 金武インターチェンジ付近のアクセス道路等整備工事区域への搬入が確認されており、令和2年7月から搬入が開始され、令和3年5月末時点での搬入量は約19万7000m³となっている。本工事区域は今後も継続して工事が進められる中で同返還跡地から約12万1000m³が随時搬入されることとなり、最終的な搬入量は31万8000m³となる見込みである。**崎浜議員** 土砂の安全性と環境への影響は。**町長** 沖縄防衛局において跡地利用特措法に基づき定められた返還実施計画に沿って、当該工事区域へ搬入される土砂は適切に処理されており、環境への影響は特に問題はなく、安全性は保証されているものと認識している。**崎浜議員** 西普天間返還地域以外の場所からの搬入があるのか。**伊勢勲企画課長** 読谷村の公共残土、キャンプ・シユワブ、キャンプ・キンザーからの搬入が報告されている。**崎浜議員** 土砂の安全性は返還される時に基準に基づいて調査しているわけだが調査内容は把握しているか。**企画課長** 返還に関する実施計画が作成され、その中で返還に係る区域は国が行う調査として、土壌の汚染の状況、水質の汚濁の状況、不発弾、その他の火薬類の有無、廃棄物の有無という

調査項目がある。そこまでは開示されているが以降の詳細は把握していない。

崎浜議員 赤土防止対策がどういう形で処理されているのか。監視や目視を毎日確認する必要があるか。**儀間権住民生活課長** 大雨があった時に赤土が出てなかつたためしつかり対処しているとパトロールしながら確認している。**キャンプ・ハンセンへの自衛隊配備****崎浜議員** キャンプ・ハン

センへの自衛隊配備について陸上自衛隊水陸機動団のキャンプ・ハンセン配備の有無は。

町長 令和3年1月25日にキャンプ・シユワブへの水陸機動団配備に関する報道があり、翌26日に岸信夫防衛大臣の記者会見が行われ、水陸機動団の配備計画はない旨の内容だと認識している。

またキャンプ・ハンセン

2022年町長選挙**崎浜議員** 来年4月の町長選挙への政治姿勢は。**町長** これまでの町政運営に関して「全ての町民が安心して暮らせる健康福祉の町」、「若者が夢と希望のもてるまち」を基本理念としてまちづくりにおいて謙虚に素直に一つ一つ丁寧に着実に現実を捉え、金武町の課題を解決しながら豊かなまちづくりに邁進してきた。**崎浜議員** キャンプ・ハンセンへの配備は国から説明があつたか。**町長** 米国総領事が役場へ来た時に配備計画のことを質問したが聞いたことない、確認できてないという返事であつた。

そういう意味ではあらゆる部署において情報収集しながらそれが町にどういった影響を与えるのかというのは常に関係機関と意見交換をしていきたい。

していきたい。

その他の質問事項**拝所の管理**

令和3年 第3回(6月)定例会

令和3年第3回定例会が6月8日(火)に招集され、11日(金)までの4日間の会期で開催された。一般質問は13名の議員が登壇した。

各会計の補正予算や条例改正、教育委員会委員、監査委員の同意などの議案が上程され、審議を行った。議決結果は、下記のとおり。

令和3年 第3回(6月)定例会 議決結果一覧

件 名	議決結果
専決処分の承認について(金武町税条例等の一部を改正する条例) 地方税法の一部を改正する法律等が令和3年3月31日に公布されたことに伴い、金武町税条例の一部を改正し、令和3年4月1日から施行する必要があるため、同条例の改正について議会の議決すべき事件について特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないことから地方自治法第179条第1項の規定により専決処分を行い議会へ報告し、承認を求めるもの。	承認 (全会一致)
専決処分の承認について(金武町固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例) 沖縄振興特別措置法第9条等の地方税の課税免除又は不均一課税に伴う措置が適用される場合等を定める省令等の一部改正されたことに伴い、金武町固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正し、必要が生じたため、議会の議決すべき事件について特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないことから地方自治法第179条第1項の規定により専決処分を行い議会へ報告し、承認を求めるもの。	承認 (全会一致)
令和3年度金武町一般会計補正予算(第1号) 歳入歳出それぞれ24億7,363万9,000円を増額し、補正後の予算総額を126億3,300万7,000円とするもの。補正の主なものは、新型コロナウイルス感染拡大予防対策及び地域経済や住民生活支援の経費に充てるための国の地方創生臨時交付金の受け入れと金武中学校屋内運動場整備及び金武町多目的屋内運動場施設整備事業の事業費である。	原案可決 (全会一致)
金武町財政調整基金の処分について 役場非常用発電機更新事業及び金武中学校屋内運動場建設事業等へ3,247万9,000円以内を充当するもの。	原案可決 (全会一致)
令和3年度金武町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号) 歳入歳出それぞれ28万7,000円を増額し、総額17億6,796万9,000円とするもの。補正の主なものは、人事異動に伴う人件費の増額である。	原案可決 (全会一致)
金武町国民健康保険事業財政調整基金の処分について 新型コロナウイルス感染症に係る令和3年度国民健康保険税の減免額に対する財源補填分として国民健康保険事業費納付金へ183万2,000円以内を充当するもの。	原案可決 (全会一致)
金武町国民健康保険税条例の一部を改正する条例 新型コロナウイルス感染症の影響により、所得が減少した国民健康保険に加入している世帯に対し、令和3年度国民健康保険税の減免を行うことができるよう減免申請の特例期間を設ける必要があるため条例の一部を改正するもの。	原案可決 (全会一致)
令和3年度金武町下水道事業特別会計補正予算(第1号) 歳入歳出それぞれ195万8,000円を減額し、総額を1億2,215万円とするもの。補正の主なものは、人事異動に伴う人件費の減額である。	原案可決 (全会一致)

件 名	議決結果
令和3年度金武町水道事業会計補正予算 (第1号) 収益的支出の水道事業費に 165 万 6,000 円を加え、総額を 5 億 1,452 万 8,000 円とするもの。 補正の主なものは、水道料金システムサーバーの構築事業に係る増額である。	原案可決 (全会一致)
金武町共同作業施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 金武町屋嘉地区共同作業施設が設置されている地番の合筆による地番の変更及び同施設の機械を経年劣化により廃棄処分したことに伴い条例の一部を改正するもの。	原案可決 (全会一致)
金武町議会会議規則の一部を改正する規則 出産、育児、介護を議会への欠席事由に加えるとともに出産について産前・産後の欠席期間を規定するもの。	可 決 (全会一致)
固定資産評価員の選任について 末吉豪氏を固定資産評価員に選任するため同意を求めるもの。	同 意 (全会一致)
監査委員の選任について 監査委員へ仲間常子氏を選任するための同意を求めるもの。	同 意 (全会一致)
教育委員の任命について 伊藝武氏を教育委員に任命するため同意を求めるもの。	同 意 (賛成多数)

令和3年 第4回(8月)臨時会

令和3年第4回臨時会が8月5日(木)に招集され、1日間の会期で開催された。臨時会では、新型コロナウイルス対策に係る補正予算や「米陸軍貯油施設からPFOSを含む汚染水が流出した事故に関する意見書・抗議決議」を審議し、採決の結果可決となった。

議決結果は下記のとおり。

令和3年 第4回(8月)臨時会 議決結果一覧

件 名	議決結果
令和3年度金武町一般会計補正予算 (第2号) 歳入歳出それぞれ5,183万3,000円を増額し、総額113億7,385万2,000円とするもの。 補正の主なものは、プレミアム付き商品券事業補助金と小・中学生のいる子育て世帯へ商品券を配布するための経費である。	原案可決 (全会一致)
金武町財政調整基金の処分について 子育て世帯(小・中学生)地域商品券配布事業、総合保健福祉センター空調機修繕、金武町プレミアム付き商品券事業補助金等へ6,531万8,000円以内を充当するもの。	原案可決 (全会一致)
工事請負契約締結についての議決内容の一部変更について 令和2年第12回12月定例会で議決された内容の一部変更 件 名：町道金武223号線落石対策工事 契約の相手方：(有)金武土建 契 約 金 額：「1億675万5,000円」を「1億1,727万1,000円」に変更	原案可決 (全会一致)
工事請負契約締結について 件 名：町道金武251号線整備工事(5工区) 契約の相手方：(有)照喜名建設・(有)金武土建 建設工事共同企業体 契 約 金 額：2億2,236万5,000円	原案可決 (賛成多数)

件 名	議決結果
工事請負契約締結について 件 名：町道中川36号線整備工事 契約の相手方：株式会社 ホカマ 契 約 金 額：8,835万 4,200円	原案可決 (全会一致)
米陸軍貯油施設からPFOSを含む汚染水が流出した事故に関する意見書 米陸軍貯油施設からPFOSを含む汚染水が流出した事故に関する抗議決議 ※詳細は下記のとおり	原案可決 (賛成多数)

米陸軍貯油施設からPFOSを含む汚染水が流出した事故に関する意見書・抗議決議

去る6月10日午後4時46分頃、うるま市字昆布にある米陸軍貯油施設(金武湾第3タンクファーム)から有機フッ素化合物のPFOSを含む汚染水が基地外に流出した。

消火剤に含まれるPFOSは発がん性などの健康リスクが指摘され、国内では使用や製造が原則禁止されるなど、国際的にもストックホルム条約で規制されているにもかかわらず、基地外に流出させたことは許されることではない。

同施設の近隣には天願川が流れ、その河口は金武湾へとつながっており自然環境への影響が危惧される。また、健康被害が指摘される残留性有機物質を含む汚染水の流出にもかかわらず町への連絡が発生から一日遅れたことは、日米間の連絡体制が緊密になっていないと言わざるを得ず、断じて許されない。

県内では昨年4月、普天間飛行場でPFOSを含む消火剤が施設外に流出しており健康被害が指摘される残留性有機物質への米軍の対応に町民の不安は高まっている。

よって金武町議会は、町民の生命・財産を守り、安心安全な生活環境を確保する立場から今回のPFOSを含む汚染水が流出した事故に対し厳重に抗議するとともに、下記事項について強く要請する。

記

- 1 PFOS等の発がん性物質を含む有機フッ素化合物の使用、貯蔵、保管を行わないこと。
- 2 具体的な再発防止策を早急に講じるとともに、安全管理を徹底すること。
- 3 米軍に起因する事件及び事故の公表について、米軍は関係機関と通報、連絡体制を明確化し、厳密かつ迅速に行うこと。
- 4 老朽化した貯水槽施設については、撤去すること。
- 5 事故発生時には「環境補足協定」に基づく立ち入り調査を認めること。
- 6 日米地位協定を抜本的に改定すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年8月5日

沖縄県金武町議会

宛 先 内閣総理大臣 外務大臣 防衛大臣
 沖縄防衛局長 外務省沖縄担当大使
 決議宛先 駐日米国大使 在日米軍司令官
 在沖米国総領事 在日米軍沖縄地域調整官

常任委員長・副委員長実務研修会

5月12日(水)、那覇市の自治会館において常任委員長・副委員長研修会が開催された。

沖縄県町村議会議長会の石垣安秀事務局長から男女の議員が活動しやすい環境整備の一環として、出産、育児、介護を議会への欠席事由に加えるとともに出産について産前・産後の欠席期間を規定するため標準町村議会議事規則の一部が改正されたとの説明があった。



町村議会議長・副議長研修会

全国町村議会議長会は町村議会正副議長研修会を新型コロナウイルス感染症拡大防止のためオンデマンド方式で開催し、金武町議会では7月16日(金)、嘉数義光議長、前田健次副議長が金武町役場中会議室でモニター画面を通して研修を受講した。

研修会では大正大学教授の江藤俊昭氏が「町村議会の役割と課題について」、弁護士の大田雅幸氏が「議会におけるハラスメント」、関東学院大学教授の廣川聡美氏が「自治体DXと議会デジタル化」の3題で講義した。



9月定例会のご案内

9月定例会は、開会は9月14日(火)を予定しており、日程が決まり次第、有線放送やホームページでお知らせいたします。

詳細は、議会事務局へお問い合わせください。

金武町議会事務局

有線電話：8-2292

NTT：098-968-2292



議員席間に設置したアクリル板

QRコードを読み取ると議会中継サイトに繋がります。



金武町議会では、検温、手指消毒や議場内の換気、議員間及び職員間にアクリル板の設置等新型コロナウイルス感染症対策を行っています。

金武町ホームページからもご覧になれます。